

みき通信

くぼたみき活動報告
第12号 2011.10.25

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

一 議会で孤軍奮闘 ! 一

議員になつてはや6ヶ月が過ぎました。みきさんは、議会活動、3度の被災地へのボランティア参加など、全力投球です。

ごみの問題では、減量化とともに焼却炉をどうするかということが大きな課題です。「近隣自治体との広域処理を進めるよう」議会で決議を上げることを求める陳情が出されました。みきさんは一人が反対する中、賛成多数で採択されました。

新たな焼却炉を作るには多額のお金がかかること、どこに作るのか地元の合意に時間がかかることなどの理由から「他の自治体と共同で」という考え方、一見もつともらしく思えます。でも、それで問題は解決するのでしょうか？。

以前から指摘されているように、仮に焼却炉を他の自治体が受け持ても、別のごみ処理施設を葉山町が分担しなければなりません。しかも、様々な状況の中で現実的にどの近隣自治体とも、共同の話し合いが進められる状況はないといいます。

これまで日本共産党は、議会でより低額で安全な小型炉の建設も選択肢に入れて丁寧に検討すべきだと主張してきました。

みきさんは、この主張をさらに発展させ、いまは技術革新によって安全で負担の少ない新しい処理方法が具体化されており、自区内処理の基本にたって、更に研究、検討すべきだと訴えています。

おしゃべり議会報告会で詳しくお話しします。どなたでも参加できます。

11月15日(火) 14:00~ ふれあいサロン「仲間」

12月18日(日) にふれあいサロン「仲間」で餅つき大会を予定しています。

暑かったり寒かったり、落ち着かない陽気、みなさんの体調はいかがでしょうか。約一か月間の第三回定期例会では、総括質問、22年度決算、一般質問と高いハードルが幾つもあり、先輩議員のお知恵を何度も借りました。

一般質問では、保育園待機児童解消については、国の『子育て新システム』の導入を待つとの答弁には、『子育て新システム』自体に問題ありと異なる検討を求め、小児医療費助成制度については、せめて三浦半島一の小学校卒業まで拡充し『子育て日本一』を目指すべきだと町長に求めました。

決算委員会では、町長から「葉山の約17平方キロの中に葉山消防署が1か所である」と「問題意識」を持ったような答弁もあり、日本一充足率の悪い消防職員の増員を含めた分署的な構造の実現化を求めました。

小学校の暑さ対策で、「今年度はタイガーマスク(?)が現れ〇〇小学校教室に扇風機を取り付けてくれた」と来年度も現れる事を期待しているような事を平気で答える行政に、子供達の教育環境の充実を図るために、現実を知ってほしいと訴え、町長、教育長に常任委員会と一緒に学校の調査を約束させました。

10月14日より3回目の被災地支援に。避難所だった学校の横に山積の瓦礫も減り、基礎や柱だけ残った場所も更地になっていましたが、女川方面の小さな漁村では全く手つかずのようで、家の上に家が乗っていたり、車が飛び込んだままの地域も何か所かあり、災害の大きさ、復興のおもさを改めて感じました。

今回、個人宅の廃材撤去や側溝の泥だし、支援物資を預かる倉庫で物資の整理のお手伝いが出来ましたが、行政として行き届かない部分での支援継続の大切さ、重要性を学びました。

くぼたみき

支援者からガイガーカウンターをカンパしていただきました。

大いに活用したいと思いますが、関心のある方、一緒に活用してみたい方は、ご連絡ください。

連絡先 090-7182-7384 くぼたみき まで

